

|   |       |     |              |
|---|-------|-----|--------------|
| 9. ナミハダニに対するバロックフロアブルの防除効果の低下（情報）   |       |     |              |
| [要約]<br>モモ、ブドウ、ナシなどの果樹類をはじめ、イチゴやバラなどの野菜・花き類に発生するナミハダニに対して、主要な殺ダニ剤であるバロックフロアブルの防除効果が著しく低下している。 |       |     |              |
| 研究室名  | 病虫研究室 | 連絡先 | 086-955-0543 |

## [背景・ねらい]

果樹、野菜、花き類など幅広い作物で使用されているバロックフロアブルは、ハダニ類に対して高い防除効果がある。しかし、数年前からナミハダニに対して効果が低下している事例がみられている。そこで、各産地から採集したナミハダニに対するバロックフロアブルの防除効果を確認する。

## [成果の概要・特徴]

1. 施設モモ、マスカット、ナシの果樹類では、調査した 8 圃場いずれも殺卵率が 0～17.8%ときわめて低い（表 1）。
2. イチゴでは 15 圃場のうち、3 圃場での殺卵率が 83.4～98.4%と高いが、残り 12 圃場では、0～10.2%ときわめて低い（表 1）。
3. バラでは、殺卵率が 49.4 及び 0%と調査した 2 圃場とも低い（表 1）。

## [成果の活用面・留意点]

1. 薬剤散布後（約 2 週間後）に効果を確認し、生存虫がみられるようであれば使用しない。
2. カンザワハダニ、ミカンハダニ及びクワオオハダニに対しては効果低下は確認されていない。
3. 年 1 回の散布であっても、使用開始 4～5 年目で感受性が急激に低下した事例が多い。

[具体的データ]

表1 各産地から採集したナミハダニに対するバロックフロアブルの防除効果（平成19年）

| 作物              | 圃場 | 殺卵率（%） |
|-----------------|----|--------|
| 施設モモ            | 1  | 12.3   |
|                 | 2  | 2.7    |
|                 | 3  | 0      |
| マスカット           | 1  | 17.8   |
|                 | 2  | 2.0    |
|                 | 3  | 2.8    |
|                 | 4  | 0      |
| ナシ              | 1  | 1.7    |
| イチゴ             | 1  | 0.2    |
|                 | 2  | 0      |
|                 | 3  | 0      |
|                 | 4  | 83.4   |
|                 | 5  | 0.7    |
|                 | 6  | 0      |
|                 | 7  | 95.1   |
|                 | 8  | 98.4   |
|                 | 9  | 0      |
|                 | 10 | 0.8    |
|                 | 11 | 5.8    |
|                 | 12 | 0.9    |
|                 | 13 | 0      |
|                 | 14 | 10.2   |
|                 | 15 | 0      |
| バラ              | 1  | 49.4   |
|                 | 2  | 0      |
| 対照 <sup>z</sup> |    | 100    |

<sup>z</sup>平成12年に三菱化学から分譲を受け、室内で累代飼育した感受性個体群

[その他]

試験研究課題・事業名：果樹主要病害虫の効率的防除薬剤の実用化試験

予算区分：県単

研究期間：平成19年度

関連情報等：なし